

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	ラジオ版「広報ところざわ」放送事業	所管	総合政策部 秘書広報課(広報担当)
			TEL 2998-9024

事業の目的 (何の為に 行うか)	市政情報を広く市民に情報提供するため。また、コミュニティFMラジオ局「FMチャッピー」は、災害時には協定に基づき緊急放送を実施するので、災害時に情報収集手段として認知するためにも役立つ。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市民	対象とした数	339,058	人
		実際に 利用した数	339,058	人

活動の内容	(何を したか)	主に広報紙の情報から、1週間(日～月)に2～3本の原稿を作成しFMラジオ局「FMチャッピー」(77.7MHz)で放送 放送時間:3分間 放送日時:月～金曜日午前10時30分～・土・日曜日午前11時～ このほかに、月1回第3水曜日に市政情報・イベント情報・防犯情報等を担当者・主催者などの関係者が5分間の電話インタビューで情報提供している。 また、NHKさいたま放送局FMラジオで同様の5分間の電話インタビューで情報提供している(不定期)。											
活動実績	項目名	広報ところざわラジオ版放送回数	366	項目名	FMチャッピー電話インタビュー放送回数	12	項目名	NHKさいたま放送局電話インタビュー放送回数	5	単位	回	単位	回

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	353	360	1,675	4.9

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	ラジオ放送合計時間	(広報ところざわラジオ版放送回数×3分)+(FMチャッピー電話インタビュー放送回数×5分)+(NHKさいたま放送局電話インタビュー放送回数×5分)	単位 分	1183 単位 分	単位 %

今後の方向性 (所管の意見)	総合評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
		終了 ⇒ 事業完了		終了 休止		
	予算	* 現状どおり 増額		減額 終了		

今後の方向性 (二次評価の意見)	二次評価実施の有無 * 有り⇒下記評価へ 無し⇒終了					
	総合評価	拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし		その他〔 〕 終了		
	予算	* 現状どおり 増額		減額 終了		

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	010500	TEL	2998-9024
事業コード	ラジオ版「広報とろざわ」放送事業		総合政策部 秘書広報課(広報担当)			
010508			グループ	広報担当		
開始年度		平成 19 年度	—	終了年度	平成	年度

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		<input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 法定受託+附加		根拠法令		
	分野別計画・指針									
	関連・類似事業									
	総合計画の体系	政策	第8章 計画の推進に向けて	施策	1節 市民との協働	中柱	2 市政情報の共有化	小柱	(1) 広報活動の充実	
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 12 位		・実施計画における位置づけ…				H19	A	H20
事業開始の背景	情報提供の充実を目指し、広報紙以外のメディア(FMラジオ)での情報提供手段として取り上げた。									

③事業の内容	目的(何のために行か、具体的に) 市政情報を広く市民に情報提供するため。また、コミュニティFMラジオ局「FMチャッピー」は、災害時には協定に基づき緊急放送を実施するので、災害時に情報収集手段として認知するためにも役立つ。							
	対象(誰を、何を対象としているのか)				利用数の考え方			
	市民				年度当初人口			
	対象数	単位	平成 18 年度		利用数	単位	平成 18 年度	
			平成 19 年度	339,058	人		平成 19 年度	339,058
事業の具体的な内容及び実施方法 主に広報紙の情報から、1週間(日～月)に2～3本の原稿を作成しFMラジオ局「FMチャッピー」(77.7MHz)で放送 放送時間:3分間 放送日時:月～金曜日午前10時30分～土・日曜日午前11時～ このほかに、月1回第3水曜日に市政情報・イベント情報・防犯情報等を担当者・主催者などの関係者が5分間の電話インタビューで情報提供している。 また、NHKさいたま放送局FMラジオと同様の5分間の電話インタビューで情報提供している(不定期)。								

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>							
	総合評価	<input type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])						
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)						
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
平成19年度中に改善した点								

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		0	353	357
	決算(見込み含む)		0	360	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人)	(人) (人)		
	正規職員人件費	0.00 人	0	0.14 人	1,315
	公債費				
	事業費合計		0	1,675	
	財源内訳	一般財源	0	1,675	357
		国・県支出金			
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
	市民一人当たり(単位:円)		0.0	4.9	
	利用数一単位あたり(単位:円)	***		4.9	

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	広報とろざわラジオ版放送回数	回	—	366	365	
		FMチャッピー電話インタビュー放送回数	回	—	12	12	
		NHKさいたま放送局電話インタビュー放送回数	回	—	5	6	
	成果分析	ラジオ放送合計時間	(広報とろざわラジオ版放送回数×3分)+(FMチャッピー電話インタビュー放送回数×5分)+(NHKさいたま放送局電話インタビュー放送回数×5分)	分	目標値	実績	1183
			%	達成率			

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 市 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 見直しの必要性
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 見直しの必要性
	明らかとなった課題	FMチャッピーの放送エリアは、所沢市全域をほぼ網羅しているが、実際には市内東部地区や近隣に大きな建物がある場合は、電波が入りにくい現状がある。		
	目標設定	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
	平成20年度における目標設定	ラジオによる情報提供実施の周知		
	平成21年度における事業の方向性	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 []) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
	評価理由	ラジオによる情報提供は、何かをしながら情報を得ることが出来る利点があり、また、災害時に情報提供できる有効な情報伝達手段であるので、引き続き継続していく。		
	評価日	平成20年5月20日	記入者職氏名	広報担当主幹 能登 則之

⑧二次評価	事後評価	平成21年度における事業の方向性							
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了							
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了							
	事前評価	部内優先順位…	位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
		見込まれる貢献度	総合計上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	評価理由	平成19年度新規事業であることなどから、市民への周知が進んでいない。市の情報を提供する手段として、また、災害時の緊急通報用に有効であることから、適切な運用を図らねばならない。							
	評価日	9月1日							

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ…	無し	計画コード	
	◎個別計画	施策の体系		施策の方向	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ…	無し	計画コード	
	基本目標				
	主要課題				
	施策の方向				